

令和5年度 第1回 学校運営協議会（記録）

1 日時 令和5年6月20日（火）15：30～17：02

2 会場 宇部中央高等学校会議室

3 出席者

- ・学校運営協議会委員7名(13人中)
- ・学校関係者：全日制教頭、定時制教頭、事務長、地域連携担当(2)、CS サポーター

4 進行状況・記録

- 委員の委嘱（校長）
- 校長挨拶
- 自己紹介
- 会長・副会長選出
- 議事（会長が議長、副会長が副議長となり進行）
 - ・R5年度学校運営方針について（校長）
 - ・本年度のスクール・ミッション、スクール・ポリシーの説明
 - ・現状と課題について
- 全日制学校評価書説明（全日制教頭）
- 定時制学校評価書説明（定時制教頭）
 - ・質疑応答
 - ・全日制と定時制が交流する機会はあるのか
⇒明日葉祭などの行事や部活動の合同練習、練習試合で交流する機会がある。
 - ・学校の行事や活動において地域と何かかわりを持つことがあるのか
⇒ある。（「社会と連携した取り組みについて」において地域連携担当教員から説明。）
 - ・小中学校でも、基本的な生活習慣や学習習慣に関する課題がある。学校で重点目標を置いて取り組んでいくことが大切である。
- やまぐち型社会連携教育推進事業説明（全日制教頭）
- 学校いじめ防止基本法について（全日制教頭）
- 生徒による自転車乗車中のヘルメット着用の義務化について(全日制教頭)
- 施設設備の現状に関する報告（事務長）
- 令和5年度実施計画について（全日制教頭）
- 「社会と連携した取り組み」について（地域連携担当教員）
 - ・コロナ禍の制限から解放され、様々な取り組みを再び行うことができるようになった。
 - ・地域活性型インターンシップに取り組んでおり、学校として様々な行事やボランティアに参加をしたり、近隣の中学校とも連携をし、一緒に作業に取り組んだりしている。
- スクール・ポリシー、社会と連携した取り組みについて協議
（スクール・ポリシーについて）
 - ・子どもたちにとってコミュニケーションを行うことはとても大切であるので、生徒像の中の行動という面に表現やコミュニケーションの表記があるとより良いのではないか。
 - ・定時制があることが強みであり、幅広い人を対象にしているのも誰一人取り残さないという理念があるとより良いのではないか。
（社会と連携した取り組みについて）
 - ・若者の地元離れが進んでいる。地元に残ったり愛着を持ったりすることにつながる取り組みができればより良い。
 - ・取り組みに関してとても素晴らしい。特定の生徒だけでなく全員が参加できるような仕組みで取り組むと、より良いのではないか。
- 閉会行事 校長挨拶